



平成27年4月3日

各位

上場会社名 株式会社 ガリバーインターナショナル
 代表者 代表取締役会長 羽鳥 兼市
 (コード番号 7599)
 問合せ先責任者 経理・財務セクションリーダー 松本 雅之
 (TEL 03-5208-5503)

業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成27年1月13日に公表した業績予想及び配当予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成27年2月期通期連結業績予想数値の修正(平成26年3月1日～平成27年2月28日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	173,000	8,500	8,500	5,100	50.31
今回修正予想(B)	155,700	5,300	5,300	3,300	32.55
増減額(B-A)	△17,300	△3,200	△3,200	△1,800	
増減率(%)	△10.0	△37.6	△37.6	△35.3	
(ご参考)前期実績 (平成26年2月期)	169,398	7,094	7,201	4,360	43.01

平成27年2月期通期個別業績予想数値の修正(平成26年3月1日～平成27年2月28日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	171,600	8,300	5,000	49.33
今回修正予想(B)	153,100	6,000	4,100	40.44
増減額(B-A)	△18,500	△2,300	△900	
増減率(%)	△10.8	△27.7	△18.0	
(ご参考)前期実績 (平成26年2月期)	168,036	6,987	4,200	41.44

修正の理由

当社が出店を加速している展示販売店舗(WOW! TOWN、アウトレット、LIBERALA、SNAP HOUSE、ミニクルなど)における中古車小売台数は想定を上回り、堅調に実績を積み重ねてきました。

一方で、昨年4月の消費増税以後の新車市場が想定以上に継続して低迷したことを背景に、ガリバー店舗においては、新車乗り換え層の来店数に減少が見られました。この結果、クロスセルによる小売提案機会が減少し、中古車小売台数が想定を下回る状況となりました。また、こうした集客の減少を補うべく、広告宣伝費の支出を増やしたため、販売費及び一般管理費が想定以上に増加しました。

また、個別業績においては、当社が100%出資する連結子会社から受領した配当金 1,000百万円を営業外収益(受取配当金)に計上いたします。この取引は、親子間取引として全額相殺消去されるため、連結業績への影響はございません。

以上のことをふまえ、連結業績及び個別業績の予想数値は、前回発表の予想数字と比べ減少する見込みとなりました。

● 配当予想の修正について

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
前回予想 (平成27年1月13日発表)	—	—	—	12.50	20.00
今回修正予想	—	—	—	7.50	15.00
当期実績	—	7.50	—		
前期実績 (平成26年2月期)	—	5.00	—	8.00	13.00

(注)平成27年2月期 期末配当金(予想)の内訳 普通配当2.50円 記念配当5.00円

修正の理由

当社は配当性向を重視し、業績に対応した適正な利益還元を行うことを基本とし、具体的には、連結当期純利益に対し30%程度の配当性向を目標としております。

上記の基本方針及び目標をふまえ、平成27年2月期の業績予想において連結当期純利益が前回発表の予想と比べ減少する見込みとなったことを受け、期末配当金の予想を修正させて頂くことといたしました。

一方で、昨年10月10日に公表した創業20周年を記念した記念配当(期末配当において1株あたり5円の記念配当を実施)は予定どおり実施させて頂くものといたします。当社の配当政策は、上記のとおり連結当期純利益に対し30%の配当性向を目途に配当金額を決定する、言わば業績連動型配当を行っております。当記念配当の実施は、こうした業績連動型配当とは別枠で配当を実施するという考えです。

以上のことをふまえ、期末配当金は1株あたり7.50円とし、第2四半期末配当金と合わせた年間配当金は1株あたり15.00円と修正させて頂きます。

なお、記念配当を含めた平成27年2月期の期末配当金は、平成27年5月開催の定時株主総会に議案を上程のうえ正式に決定する予定です。

以 上